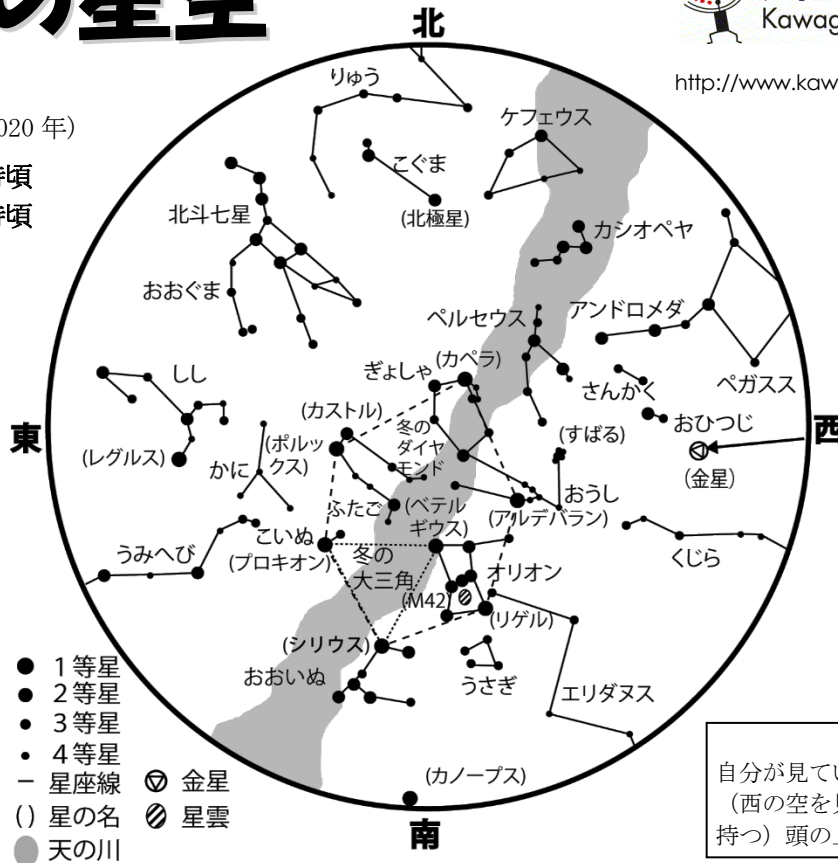


今月の星空

2月 (2020年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



星図の見方
自分が見ている方角を下にして、
(西の空を見るときは西を下にして
持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ●上弦 2 日、○満月 9 日、●下弦 16 日、●新月 24 日

惑星情報

水星 夕方 西 (みずがめ座 -1→0 等) ※上旬まで 金星 夜のはじめ頃 西 (みずがめ→うお座 -4 等)
火星 明け方 南東 (へびつかい→いて座 1 等) 木星 明け方 南東 (いて座 -2 等)

☆冬の星座の 1 等星を見比べよう

2月4日は立春。暦の上では春を迎えますが、まだまだ寒い日が続く2月。星空もオリオン座などの冬の星座が主役です。四季の星座の中で、冬の星座には1等星*が最も多くあります。1等星と言っても同じように見えるわけではなく、個性豊かです。特に明るい星は、色や明るさの違いが肉眼でもわかります。例えば、おおいぬ座のシリウスは全天で一番明るく (-1.5 等級)、白色。ぎょしゃ座のカペラは 0.1 等級で黄色。ふたご座のポルックスは 1.1 等級で橙色。ポルックスに対して、カペラは約 2.5 倍、シリウスは約 10 倍明るく見えます。

※慣例的に 1.5 等よりも明るい恒星を指す。全天で 21 個、冬の星座には 7 個ある。

☆ベテルギウスが暗くなった!?

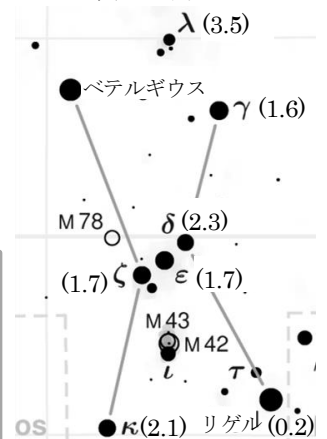
そして、今シーズン注目の天体がオリオン座の 1 等星ベテルギウスです。この星は変光星*¹で、およそ 0.0~1.3 等級の範囲で明るくなったり、暗くなったりしています。平均的には 0.5 等級の明るさがありますが、2020 年 1 月現在、アメリカ変光星観測者協会*²によると、少なくともここ数年では最も暗くなっており、1.0 等級以下になっています。オリオン座の他の星 (右図) や周辺の明るい星と見比べてみましょう。また、いつ明るさが戻るかにも注目です。

※1 半規則型変光星…明るさが周期的に変化する一方でときどき不規則な変化をする。

※2 公式サイト <https://www.aavso.org/> …変光星の観測データを検索できる。

ワンポイント~ベテルギウスの行く末~

ベテルギウスは質量が太陽の約 20 倍、大きさが約 1,000 倍の赤色超巨星。約 1,000 万年と予測される寿命のうち 8~9 割ほどが経過した終末期にあり、やがて超新星爆発を起こすと考えられています。その後は太陽の約 1.5 倍の質量がわずかに半径 10km ほどの範囲に押し込まれた超高密度天体「中性子星」が残ります。
注意…今回の減光が超新星爆発の前兆というわけではないと考えられています。



©IAU, Sky & Telescope

図 オリオン座の恒星と等級